

地域発信企画 in 新潟

多文化共生のための学びと交流の拠点づくり —次世代を育てる日本語教育—

日本語教育学会では、本年度からこれまでの「研究集会」に代わり、新たに「支部集会・活動」が各地でスタートしました。秋季大会においても、現地の日本語教育関係者が中心となって情報を発信する企画として新たに「地域発信企画」をスタートさせます！

秋季大会が開催される地域では、日本語教育に関わるどのような実践や活動が行われているのでしょうか。それらについて、現地の日本語教育に関わる方々がブースでポスター、資料、実物などを通して紹介します。そして、開催地からの発信に耳を傾け、直接相互に意見を交換することによって、自分の実践や活動、地域を振り返る、新たな発見や刺激を得る、参加者同士の新しいつながりを創る場を提供します。

各地域での支援についての活動内容だけでなくそれぞれの地域のシステム作りについても紹介し、皆様との情報交換を期待しています。ぜひご参加ください！

日時：2017年11月26日（日）

12：10～13：20

会場：朱鷺メッセ（新潟県）

2階 小会議室202・ホワイエ

※参加費無料、事前申込不要。

どなたでもご参加できます。

直接会場へお越しください。

交通・アクセスはこちら 

<http://www.tokimesse.com/visitor/access/>

主催：公益社団法人日本語教育学会 支部活動委員会
〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会新館 2F
Tel 03-3262-4291 Fax 03-5216-7552
E-mail shibu@nkg.or.jp <http://www.nkg.or.jp>

地域発信企画

「多文化共生のための学びと交流の拠点づくり—次世代を育てる日本語教育—」

フース1 (小会議室 202)	フース2 (小会議室 202)	フース3 (ホワイエ)
<p>◆第1部◆12:10~12:45 (35分)</p>		
<p>上越地域の取組み 【上越教育大学と上越国際交流協会の活動】</p>	<p>中越地域の取組み 【長岡市国際交流センターとにほんご広場の活動】</p>	<p>多文化子どもネット協議会の取組み 【事務局としての役割】</p>
<p>「外国につながる子どもたちへの修学支援事業」について 原瑞穂氏 (上越教育大学)</p>	<p>長岡市外国籍児童生徒支援事業について 吉田淳一郎氏 (長岡市国際交流センター「地球広場」)</p>	<p>外国につながる児童生徒等教育支援事業について 福永綾氏 (公益財団法人新潟県国際交流協会)</p>
<p>本セッションでは、本事業の概要及び教員養成、子どもたちの在籍校や上越国際交流協会との連携について紹介します。日本各地で同様の取組が行われていると思いますが、そのような方々と意見・情報交換をしてつながる機会にできればと考えております。</p>	<p>日本語能力が不十分な外国籍児童生徒に対する長岡市の支援事業について紹介します。就学前の日本語支援の取り組みや、小中学校に母語話者等を派遣し、児童生徒の日本語習得や学校生活を支援する取り組みを通し、どのような効果や課題があるかを考えます。</p>	<p>外国につながる子どもと保護者等を対象に県内数か所で開催している進路ガイダンス、高校進学に関する多言語版(全10言語)資料の作成や電話教育相談窓口の開設のほか、新潟県多文化子どもネットの事務局としての役割等、新潟県国際交流協会が実施する外国につながる子どもたちへの教育支援事業について紹介します。</p>
<p>◆第2部◆12:45~13:20 (35分)</p>		
<p>中越地域の取組み 【(公財)柏崎地域国際化協会の活動】</p>	<p>下越地域の取組み 【りてらこや新潟とにこぼるクラブの活動】</p>	<p>多文化子どもネット協議会の取組み 【COC+事業がつなぐ地域】</p>
<p>柏崎地域の住民向け日本語教室と人材養成 小林よしえ氏 (公益財団法人柏崎地域国際化協会)</p>	<p>新潟市における外国につながる児童生徒の学習支援について 佐々木香織氏 (りてらこや新潟)</p>	<p>「教育の国際化」に貢献する日本語教育—次世代育成のための連携— 足立祐子氏 (新潟大学)</p>
<p>地域住民のための日本語教室の取り組みと人材養成について紹介します。当協会の日本語教室は2クラス、どちらも子どもから大人まで幅広い年代、目的の方が一緒に学べる教室となっております。また、多文化共生の考え方を広めていくための人材養成の一環として、日本語支援者養成講座などを開催しています。</p>	<p>新潟市のボランティアによる外国につながる児童生徒の学習支援の現状と今後の課題、教育委員会との連携や中学校既卒生徒の進路、教育問題についてお話しします。</p>	<p>長年にわたって各地域で外国につながる子どもの学習支援が行われていましたが、連携という課題がありました。大学がどのように連携を促し地域とともに歩んでいけるのか、日本語教育をキーワードに新潟の取り組みをお伝えするとともにみなさんと情報交換をできればと考えております。</p>